

●一斉学習
■同時進行型

実践タイトル 討論モデルの映像を見て討論の仕方を学ぼう

本時のねらい

調べたことをもとに討論をする中で、自分の意見の根拠や立場を明確にしながらか計画的に話すことや、自分の考えと調べた情報とを関連付けて話すことを目的とした教材である。本時のねらいは、討論モデルを映像で確認し、普段の話し合いをしている自分たちを振り返ったり、比較したり、よりよい発言の仕方や討論の進め方を理解することである。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

討論会の中で司会者、提案者、参加者などの役割を果たせるようにするために、映像を用いて計画的な話し合いの場を具体的にイメージさせる。

指導者用
デジタル教科書

具体的な討論の様子や進め方、発言の仕方をよりイメージしやすくするために、グループ討論をしているモデル映像（指導者用デジタル教科書の中に収録されている動画）を見て話し合う。今までの自分たちが行う話し合いと比較し、自分との意見の違いやよい点を話し合う。

参考にしてほしいポイント

- ・映像を使うことでイメージはしやすいが、映像資料は提示画像が時間とともに変わるため、残しておきたい文字資料も同時に用意しておく。
- ・映像を見ることで話し方の他に、話し合いの態度面ばかりに目がいってしまうので、どの視点に重点を置いて確認するか意識させておく。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入 0	○今日の課題を確認する。 グループ討論の発言の仕方について考えよう。	
	8	○前時に確認した、「話し合うときに大切にしたい言葉」の確認をする。	
	展開 35	○討論の映像を見て進め方や発言の仕方のよいと思った点について、ワークシートに記入後、それについて話し合う。 ○よりよい討論にするための司会者の話の進め方について話し合う。	・電子黒板 ・指導者用デジタル教科書（国語） ・モデル映像（写真1・2）
まとめ 45	○討論時に、お互いの意見をしっかり聞き合うために大切にしたい発言の仕方や言葉はどんなものがあるか発表し合う。 ○学習の振り返りを書く。	（写真3）	



写真1：電子黒板で討論モデルの確認をする



写真2：発言の仕方のでよいところを話し合う



写真3：討論で大切にしたい発言の仕方や言葉の発表

児童生徒の反応

動画で確認することで児童には実際の討論の様子がイメージしやすかった。また、普段の自分自身の発表の仕方を振り返って、もっと丁寧な言葉遣いをしようとか、友だちや先生の話聞くときは「うんうん」と頷きながら聞いていた。「確かに」、「なるほど」など分かったことを相手に意識的に伝える姿勢が見られた。

活用効果

評価の観点	話す・聞く能力
具体的変容	モデル映像を見ることで、実際に自分たちが行う討論の様子をイメージすることができた。そして、一人ひとりが討論の時に気を付けたい言葉や使いたい言葉をしっかり持って討論に臨むことができ、その言葉を意識的に使うことができた。また、司会者になった児童は、ただ進めるだけではなく友だちの話を要約して投げ返したり、みんなの意見の共通する部分を意識しながら進めたりすることができた。

実践の手応え

よりよい討論の進め方や発言の仕方を考えることは、普段の授業の中での発表の場や話し合いの場でも意識して使っていると感じる。話し合いの場のモデルを映像で確認することで、話し合いの仕方や言葉の使い方などを見直すきっかけになり大変有効だった。